

「令和4年度伊達市経営に関する説明会議（霊山地域）」発言録

日 時：令和4年4月28日（木）

10時10分～10時40分

場 所：霊山中央交流館 大ホール

参加者：57/77人

（行政推進員）

市 長：説明「今年度の市政経営方針について」（要旨別紙参照）

【質疑応答】

まちづくり・地域振興関連

■集会施設の改修の支援について

行政推進員（坂ノ上）：集会所の修繕について質問します。平成30年に集会所の修繕の助成をお願いしていましたが、なぜ4年も経過してから支所で立ち会ってほしいと求めてきたのか確認したい。うちの集会所は投票所にもなっており、旧石田小学校坂ノ上分校の閉校後は、昭和60年に新しい集会所にして現在に至っています。市から助成が50%では修繕できません。10数戸の部落ではできません。旧霊山町の時に投票所のために予定の倍の大きさを造っています。50%の助成では修繕はできない。

霊山総合支所長：坂ノ上集会所の改修については、4年前の平成30年当時の行政推進員の家族から先日お話があり、いろいろ話を聞いております。今、話にありましたように助成の内容をお話しました。投票所というところはありますが、中々要望を満たす助成がないものですから話が継続している状況です。

行政推進員（坂ノ上）：なぜ4年もかかったのか、なぜ50%しか助成ができないのか。私は全額助成を望む。

霊山総合支所長：4年ということですが、申請の不備があったためと聞いております。

行政推進員（坂ノ上）：建物は普通の集会所より倍の大きさがある。10数戸で補うのはできないのでお願いしたい。

霊山総合支所長：行政推進員と支所で直接話をする機会を設けて話をさせてください。

■地域おこし支援員の配置について

行政推進員（日向前）：掛田のまちづくりについてお伺いします。掛田自治協議会の中に活性化委員会を作って、私も関わっていますがなかなか思うようにはいかない。地域おこし支援員がいますよね。全体の地域づくりでいいが、特に商店街の活性化に携わる支援員を配置できないか。自治協議会の中では幸い、地域で活性化の機運が高まっておりますので、支援員が配置されればタイアップして何か

できるのではないかと考えております。

未来政策部長：地域おこし支援員の関係ですが、昨年、市としまして自治会にヒアリングさせてもらいました。その場でも地域おこし支援員を配置して地域の活性化につなげてほしいと声をいただいております。今までの地域おこし支援員の制度は行っておりますが、今後の新たな地域おこし支援員の制度の再構築を進めております。掛田のまちづくりの新しい会議を進めているのは支所長から報告は受けておりましたので、そういったところを市としても支援できるような形で配置できればと思いますが、全体のバランスもございますので、その中で改めてそういう体制をとれる配置を検討してまいります。

その他

■総合支所の充実について

行政推進員（右代）：総合支所の充実というか、総合支所に行くんですけど、それは本庁に行ってくださいと言われることが多い。伊達市全体的に発展させるにはもう少し総合支所が機能を強化していく必要があると思う。過疎地区はますます進んでまいりますのでよろしくお願いします。

未来政策部長：昨年、自治会を回ったときに総合支所で完結できるようにしてほしいとお話をいただいております。今年度から各総合支所に地域づくり担当を1名配置、生涯学習指導員として生涯学習活動の職員につきまして、本庁にいたものを支所に専任で配置と、少しずつではございますが総合支所を充実して、総合支所で業務の完結ができるようにしてまいりたいと検討しております。なかなか一気ににはできませんが少しずつできることから総合支所で完結するような形で皆さまへのサービスが充実するように努めてまいりたいと思っておりますのでご理解をお願いします。